

大学自己点検・評価における2010年度新設部局の「目標」「指標」一覧  
(個別的な視点・国際学部)

2011年3月25日

\* 目標・指標は大項目(中項目がある場合は中項目)ごとに設定しています。小項目ごとには設定していません。

評価項目(*印は、本学独自項目)			国際学部		
大項目	中項目	小項目	目標	指標	
0	理念・目的	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。	1. 毎年度、教授会にて理念・目的について懇談し、その確認を行う。 なお、懇談内容については継続性を保つために記録をとり、次年度以降の懇談時に参考資料とする。	1. 指標：当該年度における教授会での懇談(理念・目的について)の有無 評価基準：(当該年度に)実施した…評価A、実施しなかった…評価D	
		0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。	【国際学部の理念・目的】 「国際性の涵養」という教育・研究上の理念を達成するために、「国際事情に関する課題の理解と分析」を教育・研究上の目的とする。その目的の達成を通じて、「国際性」(世界理解、国際理解のための能力)と「人間性」を備えた世界市民として、国際的なビジネス・市民社会で活躍できる人材を養成する。「国際事情に関する課題の理解と分析」という教育・研究上の目的を実現するために、「問題発見解決能力」、「多文化共生能力」、「倫理的価値観」、「言語コミュニケーション能力」を養成する。		
		0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。			
4	教育研究組織	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。	1. 毎年度、教授会にて教員研究組織が「理念・目的」「学術の進展や社会の要請」と適合しているかについて懇談し、その確認を行う。	1. 指標：当該年度における教授会での懇談(教員研究組織が「理念・目的」、「学術の進展や社会の要請」と適合しているかについて)の有無 評価基準：実施した…評価A、実施しなかった…評価D	
		4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。	2. 毎年度、言語・文化、社会・ガバナンス、経済・経営領域に関する教授研究会を4回以上開催する。	2. 指標：当該年度における教授研究会の開催回数 評価基準：4回以上実施した…評価A、3回…評価B、2回…評価C、1回以下…評価D	
5	学生の受け入れ	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。	1. アドミッションポリシーを各入試募集要項に掲載する。	1. 指標：①一般入試、センター利用入試、②AO入試、③帰国生徒入試、④スポーツ選抜入試、⑤外国人留学生入試、⑥その他の入試(高等部、指定校、協定校・提携校、継続校、海外学部協定校推薦)、⑦編入学試験、以上7つの各入試要項にアドミッションポリシーを掲載した点数 評価基準：7～6点に掲載…評価A、5～4点…評価B、3～2点…評価C、1点以下…評価D(2012年度までに達成を目指す)	
		5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。			
		5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	2. 募集要項に掲載したアドミッションポリシーに従い、一般入試、センター利用入試、AO入試、帰国生徒入試、スポーツ選抜入試、外国人留学生入試、その他の入学試験(高等部、指定校、協定校・提携校、継続校、海外学部協定校推薦)、編入学試験について、それぞれ募集定員を設定し、その人員を確保する。	2. 指標：①一般入試、センター利用入試、②AO入試、③帰国生徒入試、④スポーツ選抜入試、⑤外国人留学生入試、⑥その他の入試(高等部、指定校、協定校・提携校、継続校、海外学部協定校推薦)、⑦編入学試験、以上7つの各入試の募集人員を満たした点数 評価基準：7～6点が充足…評価A、5～4点…評価B、3～2点…評価C、1点以下…評価D(2012年度までに評価Bを目指す)	
		5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。	3. 過去4年間の収容定員に対する在籍学生数比率を平均1.21～1.30とする。	3. 指標：過去4年間の収容定員に対する在籍学生数比率 評価基準：1.2以下…評価A、1.21-1.30…評価B、1.31-1.40…評価C、1.41以上…評価D(2013年度に評価Bを目指す)	
6	教育内容・方法・成果	教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。	1. 「教育・研究上の目的」に基づいた「学位授与方針」を、「履修の手引き」に明示する。	1. 指標：「学位授与方針」を「履修の手引き」に明示したかの有無 評価基準：掲載した…評価A、掲載していない…評価D
			6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。	2. 「教育・研究上の目的」に基づいた「教育課程編成の基本的な考え方」を、「履修の手引き」に明示する。	2. 指標：「教育課程編成の基本的な考え方」を「履修の手引き」に明示したかの有無 評価基準：掲載した…評価A、掲載していない…評価D
			6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。	3. 「教育・研究上の目的」、「学位授与方針」および「教育課程編成の基本的な考え方」を、入試広報誌「空の翼」に明示することにより社会に公表する。	3. 指標：「教育・研究上の目的」、「学位授与方針」および「教育課程編成の基本的な考え方」を、入試広報誌「空の翼」に掲載したかの有無 評価基準：掲載した…評価A、掲載していない…評価D
			6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。	4. 毎年度、教授会にて、「教育・研究上の目的」、「学位授与方針」および「教育課程編成の基本的な考え方」の適切性について懇談する。	4. 指標：当該年度における教授会の懇談(「教育・研究上の目的」、「学位授与方針」および「教育課程編成の基本的な考え方」の適切性について)の有無 評価基準：実施した…評価A、実施しなかった…評価D

大学自己点検・評価における2010年度新設部局の「目標」「指標」一覧  
(個別的な視点・国際学部)

2011年3月25日

\* 目標・指標は大項目(中項目がある場合は中項目)ごとに設定しています。小項目ごとには設定していません。

評価項目(*印は、本学独自項目)			国際学部			
大項目	中項目	小項目	目標	指標		
6	教育課程・教育内容	6.2.1	教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	1. キリスト教科目4科目を開講する。	1. 指標：キリスト教科目4科目の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D	
		6.2.2	教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。	2. 言語教育科目、外国語科目64科目、留学科目13科目を開講する。	2. 指標：言語教育科目(外国語科目64科目、留学科目13科目)の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D	
				3. 国際基礎科目、入門的科目4科目、基礎的科目36科目、基礎演習科目4科目を開講する。	3. 指標：国際基礎科目(入門的科目4科目、基礎的科目36科目、基礎演習科目4科目)の配当年次に応じた開講率 95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価基準：評価C、85%未満…評価D	
				4. 国際専門科目、共通科目62科目、北米研究コース科目32科目、アジア研究コース46科目、研究演習科目6科目を開講する。	4. 指標：国際専門科目(共通科目62科目、北米研究コース科目32科目、アジア研究コース46科目、研究演習科目6科目)の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D	
				5. 領域関連科目14科目を開講する。	5. 指標：領域関連科目14科目の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D	
				6. 英語による授業を80科目開講する。	6. 指標：英語による授業80科目の配当年次に応じた開講率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D	
	教育内容・方法・成果	教育方法	6.3.1	教育方法および学習指導は適切か。	1. 1年次に履修する国際基礎科目の基礎演習科目「基礎演習A」、「基礎演習B」、「Basic Seminar A」、「Basic Seminar B」は、原則として国際専門科目担当の専任教員全員が担当し、1クラス当たりの人数を、10～20人とする。	1. 指標：基礎演習科目「基礎演習A」、「基礎演習B」、「Basic Seminar A」、「Basic Seminar B」の1クラス当たりの平均人数の超過率 評価基準：1.0以下…評価A、1.01-1.20…評価B、1.21-1.40…評価C、1.41以上…評価D(2013年度に評価Bを目指す)
			6.3.2	シラバスに基づいて授業が展開されているか。		
			6.3.3	成績評価と単位認定は適切に行われているか。	2. 3年次、4年次の国際専門科目の研究演習科目(「研究演習I」、「研究演習II」、「Research Seminar I」、「Research Seminar II」)も、原則として国際専門科目担当の専任教員が担当し、1クラスあたりの人数は、10～20人とする。	2. 指標：「研究演習I」、「Research Seminar I」、「研究演習II」、「Research Seminar II」の1クラス当たりの平均人数の超過率 評価基準：1.0以下…評価A、1.01-1.20…評価B、1.21-1.40…評価C、1.41以上…評価D(2013年度の達成を目指す)
			6.3.4	教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。	3. 毎学年度の始めに、全科目のシラバスを学生にWEBにて提示する。	3. 指標：全科目数に対するシラバスの掲載率 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D(2013年度の達成を目指す)
				4. 国際学部カリキュラム委員会を設置し、毎年度、成績評価が(原則に従って)厳格に行われているかを検証する。	4. 指標：当該年度における、カリキュラム委員会での検証の有無 評価基準：実施した…評価A、実施しなかった…評価D	
	6	成果	6.4.1	教育目標に沿った成果が上がっているか。	1. 社会の一つの評価となる就職決定率を90%以上確保する。	1. 指標：就職決定率 評価基準：90%以上…評価A、85%以上…評価B、80%以上…評価C、80%未満…評価D(評価Bを目指す)
6.4.2			学位授与(卒業・修了判定)は適切に行われているか。			
7	* 国際交流	7.0.1	国際交流(国内外における教育研究交流)についての方針を明示しているか。	1. 原則として短期留学(約1ヶ月)、中期留学(約4ヶ月)、長期留学(約半年、約1年)のいずれかのプログラムに学生を参加させ、外国人留学生を除く全学部生を留学させる。	1. 指標：外国人留学生を除く、学年毎の留学参加率(平均) 評価基準：95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D	
		7.0.2	国際交流(国内外における教育研究交流)を適切に行っているか。	2. 交換留学生を25名以上受け入れる。	2. 指標：交換留学生25名に対する達成率 評価基準：95%(24名)以上…評価A、90%(23名)以上…評価B、85%(22名)以上…評価C、85%未満…評価D	
				3. 学部独自の中期留学先として中国、韓国、北米からそれぞれ1校以上を開拓する。	3. 指標：学部独自の中期留学先を確保した校数 評価基準：3校以上…評価A、2校…評価B、1校…評価C、なし…評価D	

大学自己点検・評価における2010年度新設部局の「目標」「指標」一覧  
(個別的な視点・国際学部)

2011年3月25日

\* 目標・指標は大項目(中項目がある場合は中項目)ごとに設定しています。小項目ごとには設定していません。

評価項目(*印は、本学独自項目)			国際学部	
大項目	中項目	小項目	目標	指標
9	教育研究等環境	9.0.4 教育研究を支援する環境や条件は適切に整備されているか。	1. 教育補佐を4名配置する。	1. 指標 : 教務補佐4名に対する採用率 評価基準 : 4名採用した…評価A、3名採用した…評価B、2名採用した…評価C、1名以下の採用…評価D
			2. 文部科学省等の外部資金に10件以上申請する。	2. 指標 : 文部科学省等の外部資金の申請件数 評価基準 : 10件以上…評価A、9~8件…評価B、7~6件…評価C、5件以下…評価D
11	教員・教員組織	11.0.1 大学として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか。	1. 毎年度、自己評価委員会を設置し、教育研究上の自己点検・評価について審議する。	1. 指標 : 自己評価委員会における審議(教育研究上の自己点検・評価について)回数 評価基準 : 4回実施した…評価A、3回…評価B、2回…評価C、1回以下…評価D
		11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。		
		11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。	2. FD委員会を設置し、授業形態・方法の点検と改善等、教員の資質の維持向上について審議する。	2. 指標 : FD委員会における審議(教員の資質の維持向上について)回数 評価基準 : 4回実施した…評価A、3回…評価B、2回…評価C、1回以下…評価D
		11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。	3. 毎年度、教授研究会を4回以上開催し、各自が自分の研究テーマを簡潔に発表し、質疑応答する。	3. 指標 : 教授研究会の開催回数 評価基準 : 4回以上実施した…評価A、3回…評価B、2回…評価C、1回以下…評価D

大学自己点検・評価における2010年度新設部局の「目標」「指標」一覧  
(個別的な視点・高等教育推進センター)

2011年3月25日

\* 目標・指標は大項目(中項目がある場合は中項目)ごとに設定しています。小項目ごとには設定していません。

評価項目(*印は、本学独自項目)			高等教育推進センター	
大項目	中項目	小項目	目標	指標
0	理念・目的	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。	1. 高等教育推進センターの学内外の認知度を向上させるため、研究紀要(年1回)・ニュースレター(年4回)を発行する。	1. 研究紀要・ニュースレターの発行数
		0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。	2. 社会への説明責任(USR)を果たすため、授業調査を毎年実施し、実施結果を学内外に公表する。	2. 授業調査の実施状況、および、結果の公表
		0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。	3. 教授者－学習者支援システム(LUNA)を普及・定着させる。2013年までに教授者の利用率を30%とする。	3. 教授者の利用率
			4. 高等教育に関する研究を充実させるため、研究助成などを行い、研究論文・事例研究を年10本公表する。	4. 研究論文・事例研究の発表数
<p>【高等教育推進センターの理念・目的】 「教育力を強化し、教育の質を高めることにより、本学の教育の一層の充実・発展に寄与する」ことを目的とし、この達成のため、次の事業を行う。</p> <p>1. 本学の教育推進に資する施策の企画・立案及び教育推進連絡会議への提案 2. 教育力向上(FD)に関する全学的方針の立案及びその方策の推進 3. 情報通信技術(ICT)を活用した教育の開発・支援及び教育環境の整備・充実 4. 授業に関わるTA・LA等の教育・指導力向上への支援 5. 高等教育に関する調査・研究 6. センター紀要、技術資料等の発行</p>				
4	教育研究組織	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。	1. 組織の編成原理を毎年、教育推進連絡会議で検証する。	1. 教育推進連絡会議における検証の有無
		4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。		
11	教員・教員組織	11.0.1 大学として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか。	1. 大学の中長期計画に基づき、全学的なFDの推進、教育のICT化を強化するため、教員採用(専任1名、任期制3名)を行う。	1. 年次計画通りの教員採用
		11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。	2. センター教員、および、教育技術主事の担当業務の構築を行う。	2. 担当業務の明文化
		11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。		
		11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。		